

風の ゆうびん屋さん

たけした ふみこ 文
つちだ よしはる え

① 風の ゆうびんさんは、

風の じてん車に のって やってきます。

リンリンと ベルを ならして、

ひゅうっと とおりすぎて いきます。

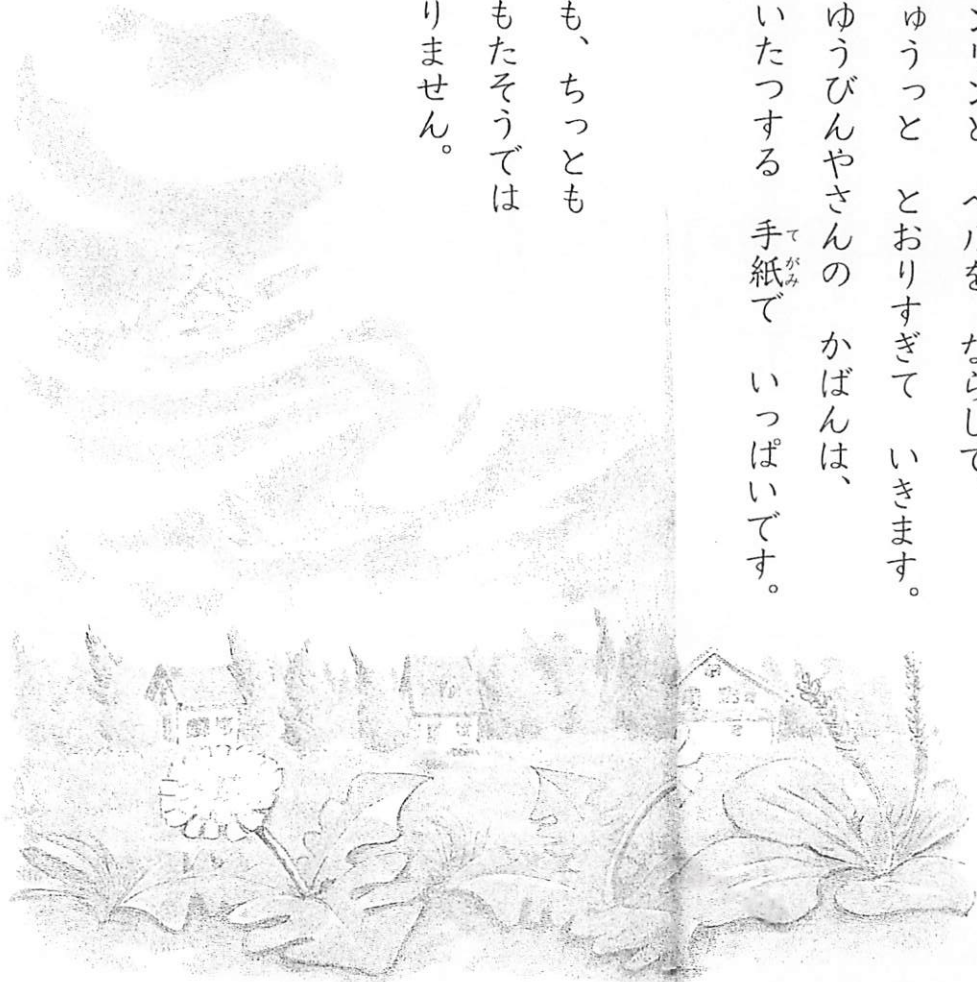
② ゆうびんさんの かばんは、

はいたつする 手紙^{てがみ}で いっぱいです。

でも、ちっとも

おもたそうでは

ありません。



③ せまい みちでも、さかみちでも、ゆうびんさんは、
口ぶえを ふきながら、すいすい はしります。

5

*うながら

紙
かみ

5

風
かぜ



「あげはちょうさん、ゆうびんです。」

「花びらみたいなの、いいにおいの

手紙がとどきました。」

「あら、うれしい。パーティーの

しようたいじょうですって。こうえんで、

ばらの花がさいたんですって。

ぜひ行かなくちや。」

5 おしゃれな あげはちょうは、いそいそと したくを

はじめます。

「犬さん、ゆうびんです。」

6 にわの 犬小屋いぬごやの、おじいさん犬の ところには、

はがきが とどきました。

「ほう。となり町に ひっこして

いった、まごたちからだ。みんな

元気に くらして います、か。

うん。よかった、よかった。」

ク犬は、目を ほそくして、なんども

なんども はがきを 読みなおします。

「すずめさん、ゆうびんです。」

8 こんどの 手紙は、やねの 上。

でも、風の じてん車は、どこにでも はいたつします。

「すずめの 学校が はじまる おしらせよ。」



読
よむ

元
げん

行
いく

9 手紙を 読んで、すずめの おかあさんが 言いました。

「学校って、なあに。なに する ところなの。」

10 この はる 生まれた 子すずめたちが ききました。

「みんなで あそんだり、うたを

うたったり、それから、

上手な とびかたとか、

えさの さがしかたとか、

いろんな ことを ならうのよ。」

「わあ、おもしろそう。早く

行きたいな。」

// 子すずめたちは、みじかい



はねを ひろげて、おかあさんの まわりを ぴよんぴよん
とびまわりました。

12 リンリン。じてん車の ベルを ならして、

ゆうびんやさんは、みどりの 木かげを ぐぐります。

「くもさん、ゆうびんです。おや、

くもさんは、おひるね中だ。」

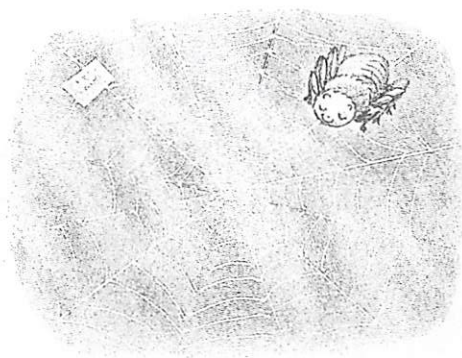
13 ゆうびんやさんは、くもの すの

はしっこに、小さな みどりいろの

ふうとうを、ていねいに

はさみました。くもが 目を

さましたら、すぐ 気が つくように。



言
いう

上手
(じょうず)

木
こ

き
いたら

夕でも、しらない 人が 見たら、ぎんいろに ひかる
くもの すに、小さな はっぱが ひつかかって
いるだけだと おもうかも
しれません。

15 はいたつする 手紙は、
まだ まだ たくさん あります。

風の ゆうびんやさんは、

口ぶえを ふきながら、

元気よく はしって

いきます。

